

第一中学校跡地活用について

企画財政部・危機管理室・こども家庭部・地域振興部

第一中学校の跡地活用について、令和8年6月時点における市の検討状況をお知らせします。

1 背景

- ◆ 令和7年4月の交野みらい学園開校に伴い、第一中学校は学校としての役割を終えましたが、その跡地は市にとって貴重な財産であり、売却をせず市民や地域のために有効活用していく方針です。
- ◆ しかしながら、みらい学園建設時の起債条件にて校舎や体育館を全て除却する必要があり、これに伴い大きく2つの課題をクリアする必要がありました。

校舎解体費用に5億円程度必要

市民負担(財政負担)の軽減

地域の避難所機能を確保する必要

避難所機能の維持



【検討の出発点】

財源確保を図りつつ、地域の安全・安心を確保するための手法を検討する必要があった。

2 検討のポイント

跡地活用では、次のポイントを踏まえ、地域課題を複合的に解決できるよう検討しました。

	検討のポイント	市の考え
土地の沿革	地域最初の公立中学校として、長年子ども達の学び場として利用してきた	今後も子ども達の育成のために活用したい
地域課題の解決 (道路狭隘)	物資搬入や総合防災拠点(いきいきランド・私部公園)との連携を想定するも、前面市道が狭い	道路拡幅により防災機能強化に繋げたい
地域課題の解決 (防災倉庫の確保)	総合防災拠点には、防災備蓄物資を格納するための十分な保管スペースがない	防災備蓄物資を格納する倉庫を確保したい
地域課題の解決 (テニスコート集約)	寺作業所跡地で計画していたテニスコート集約整備がコスト等の課題により困難となった	テニスコートの機能・敷地を確保したい
子育て支援充実と まちの魅力アップ	大阪・関西万博ルクセンブルクパビリオン部材を再利用した子育て支援施設の整備を検討	新たな子育て支援施設の敷地とし、まちの魅力アップに繋げたい

3 跡地活用のコンセプト

- 「防災力強化」と「子育て支援」を軸に、跡地全体として付加価値の高い土地利用を図る
- 可能な限り財政負担を軽減(全市的なまちづくりとのバランスを踏まえた財源確保策の検討)



4 全体のイメージ

※令和8年6月時点におけるイメージ図であり、今後の検討により細部が変更となる場合があります。



※上下水道部において、今後、敷地内への防災用井戸の整備を検討しています。

(6)子育て支援

- ・認定こども園敷地

(5)子育て支援+スポーツ振興

- ・芝生広場兼テニスコート
(約4,000㎡、整備費約1.5億円)

(4)子育て支援

- ・子育て支援施設
※パビリオン部材再利用
※地域子育て支援センターと屋内遊戯施設
(敷地約1,800㎡、延床約750㎡、整備費約6.1億円)

(3)防災力強化

- ・前面道路拡幅
(整備費 調整中)
- ・中圧ガス管敷設
(整備費約5000万円)

(2)防災力強化

- ・消防団車庫
(約220㎡、整備費約1.6億円)
- ・防災備蓄倉庫
(約180㎡、整備費約5600万円)
- ・防災車両倉庫
(約200㎡、整備費約6300万円)

(1)防災力強化

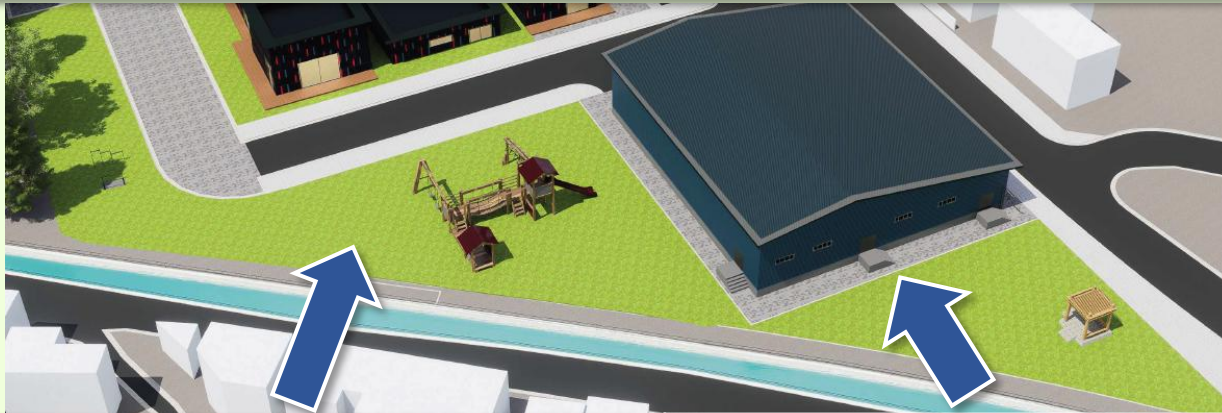
- ・避難所
(約820㎡、整備費約4.2億円)
(専用通路整備費約6000万円)
- ・防災公園
(約2,200㎡、整備費約4300万円)

次ページ以降で、エリア別に説明します。

5 個別整備概要

(1)防災力強化 【避難所・防災公園】

- ✓ 屋内避難所機能を確保するとともに、災害時の避難・活動場所として防災公園を整備
- ✓ 屋内避難所は、平時に市民の活動スペース等として活用できるよう調整中



防災公園

面積	約2,200㎡
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所を囲むレイアウトで広場を配置 ● 防災用ベンチ・四阿及び遊具を配置
整備費	約43,000千円
完成時期	避難所と併せて完成予定

避難所

構造等	鉄骨平家建 延床約820㎡
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所の確保（交野みらい学園校区の避難所面積は増加） ● 平時は市民の活動スペース等として活用できるよう調整中 ● トイレ・更衣室・シャワー室設置
整備費	約420,000千円
完成時期	令和9～10年度完成予定

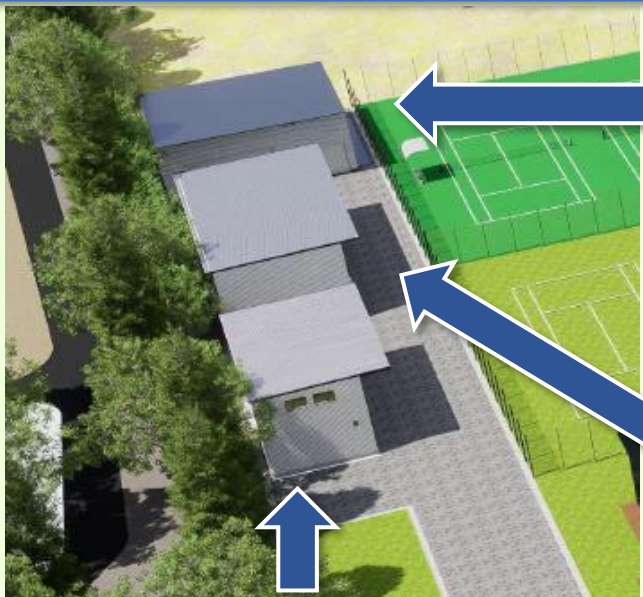
財源確保の工夫

校舎除却費用を含め、緊急防災・減災事業債及び緊急自然災害防止対策事業債（地方交付税により7割国負担）を活用し、財政負担を軽減

※上記施設に伴う敷地内専用通路整備費 約60,000千円

(2)防災力強化 【消防団車庫・防災備蓄倉庫等】

- ✓ 消防団(私部分団)の車両や資機材を格納する車庫を始め、防災備蓄倉庫等を整備
- ✓ 倉庫前面のスペースは、消防団訓練等に活用予定



私部分団車庫

構造等	鉄骨2階建 延床約220㎡
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の車庫(住吉神社内)の老朽化対策として移転新設 ● 団の活動を支援する多目的室も設置
整備費	約160,000千円
完成時期	令和9年度完成予定

防災車両倉庫

構造等	鉄骨平家建 延床約200㎡
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 大型防災車両を格納
整備費	約63,000千円
完成時期	令和9年度完成予定

防災備蓄倉庫

構造等	鉄骨平家建 延床約180㎡
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 市や地域の防災備蓄物資を格納
整備費	約56,000千円
完成時期	令和9年度完成予定

財源確保の工夫

校舎除却費用を含め、緊急防災・減災事業債(地方交付税により7割国負担)を活用し、財政負担を軽減

(3)防災力強化 【前面道路拡幅・中圧ガス管敷設】

✓ 施設整備と併せて、敷地前面道路(市道)の幅員を拡幅、歩道も整備



前面道路拡幅

機能

- 中学校敷地側に後退し、道路拡幅を図り、施設側に歩道（幅2.5m）を整備
- 緊急時には、第二京阪側道側より大型車の進入が可能となるよう幅員確保（車道幅6m(3m×2)）

整備費

調整中

完成時期

令和9年度完成予定

中圧ガス管敷設

機能

- 交野久御山線側より中圧ガス管を敷設（敷地内施設の空調設備用）

整備費

約50,000千円

完成時期

令和9年度完成予定

財源確保の工夫

道路内の中圧ガス管敷設に緊急防災・減災事業債（地方交付税により7割国負担）を活用し、財政負担を軽減

(4)子育て支援 【子育て支援施設（パビリオン部材再利用）】

- ✓ ルクセンブルクパビリオンの部材を再生・再利用し、新たな子育て支援施設を設置
- ✓ 市立地域子育て支援センターの機能を移転するとともに、屋内大型遊具を設置し、小学生までのこどもが快適に遊べる屋内遊戯施設としての機能を追加



(利用イメージ)



子育て支援施設	
構造等	鉄骨平家建 延床約750㎡（敷地約1,800㎡）、5棟配置（管理棟＋パビリオン棟×4）
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪・関西万博にて使用されたルクセンブルクパビリオンの鉄骨等を再生し、新施設に再利用 ● 利用者はこどもとその保護者（市民の利用は無料を予定） ● 利用者用の駐車場も整備（70～80台程度確保予定）
整備費	約610,000千円 ※内訳：建物約4.9億円、遊具約5,500万円、駐車場約6,600万円
完成時期	令和9年度完成予定

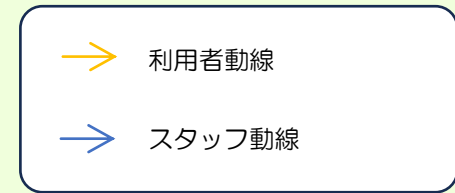
財源確保の工夫

- ・ 内閣府の地域未来交付金により財源確保（補助率1/2）
- ・ 一般補助施設整備等事業債（地方交付税により27%国負担）を活用し、財政負担を軽減

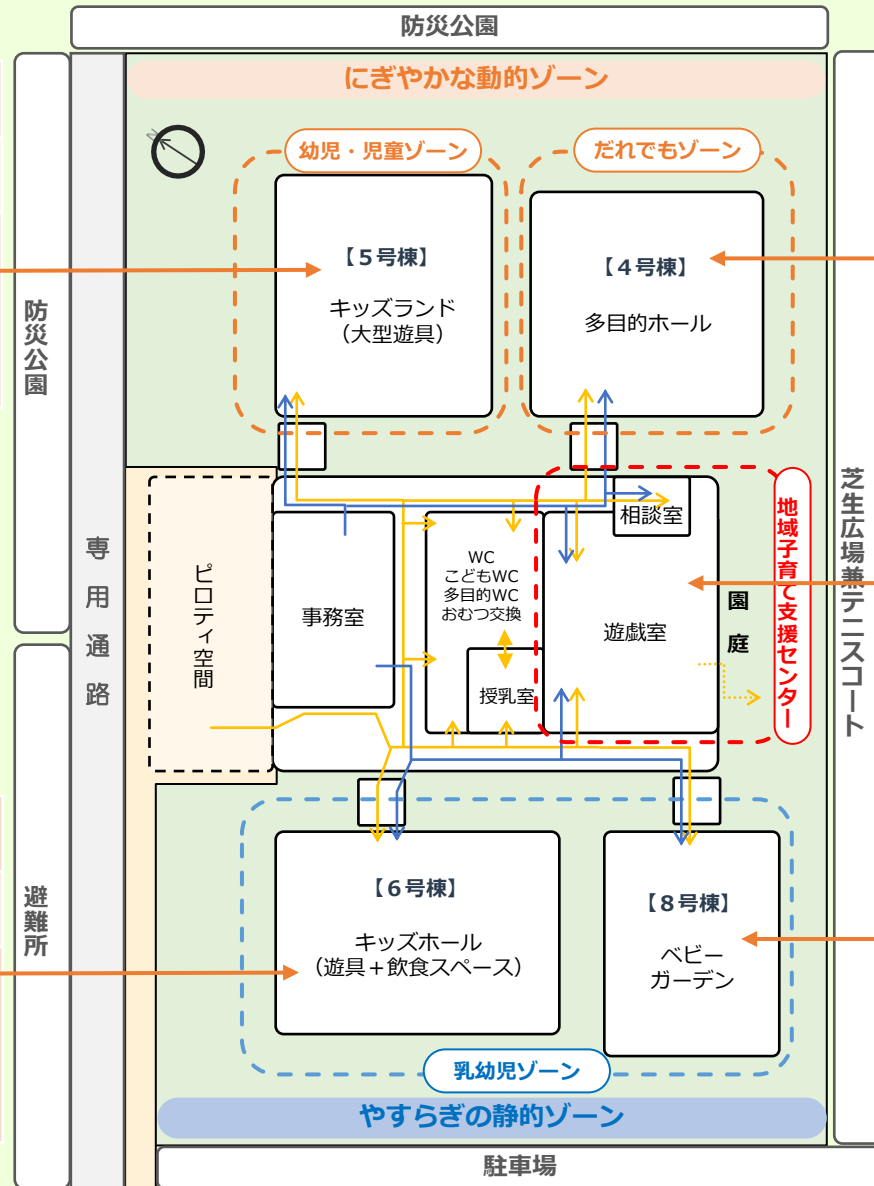
(参考) 施設概要

基本理念「安心がつながる、和みの子育てパビリオン」

建物	パビリオン棟 (5号棟)
面積	平家建 約115㎡
概要	<ul style="list-style-type: none"> パビリオンの高さを活かした大型遊具、身体を動かし楽しく遊ぶスペース、全てのこども達に開かれた遊び場



建物	パビリオン棟 (6号棟)
面積	平家建 約131㎡
概要	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児を遊ばせながら保護者が休憩・交流できるスペース その子に合った過ごし方を選べる遊び場



建物	パビリオン棟 (4号棟)
面積	平家建 約116㎡
概要	<ul style="list-style-type: none"> 大空間を活かした遊戯室、イベントや講座にも対応

建物	管理棟 (新築)
面積	平家建 約294㎡
概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理機能 地域子育て支援センター (乳幼児と保護者が安心して遊び・交流できるスペース) ルクセンブルク紹介コーナーの設置

建物	パビリオン棟 (8号棟)
面積	平家建 約87㎡
概要	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児と保護者が安心して遊び・交流できるスペース (地域子育て支援センターとの併用も想定)

※パビリオンのエリア名称は仮称

(参考) パビリオン棟の利用イメージ

にぎやかな動的ゾーン

4号棟

機能：多目的ホール

利用イメージ

- 家族でのびのび身体を動かせる、広々とした空間
- 親子向けイベントや講座、多彩な活動の場
- マット等を広げて遊べる日や、こどもの歌声が響く日も
- いつもと違う使い方が、また来るきっかけになる
- 利用者のニーズに応じた、柔軟な活用と展開
- 人が集い、交流が広がるにぎわいの拠点
- 地域と家庭をつなぐ、開かれた場所



多目的ホールのイメージ

5号棟

機能：キッズランド（大型遊具）

利用イメージ

- よじ登って、くぐって、すべって、身体全部で遊ぶ
- 雨の日も関係なく遊べる
- 身体を動かしたい子が、思いきり動ける
- 見通せる。安心して見守れる
- 大型遊具が常設されている
- こどもが身体の使い方を覚えていく場所
- 「明日も行きたい」とこどもが言う場所
- 遊び疲れて、ぐっすり眠れる1日に



キッズランドのイメージ

(参考) パビリオン棟の利用イメージ

やすらぎの静的ゾーン

6号棟

機能：キッズホール
(遊具+飲食スペース)

利用イメージ

- 木のおもちゃで、素材のぬくもりを感じながら遊べる場所
- 見守られながら、自分のペースで遊びに挑戦
- 少し離れて見守る、はじめの一步に寄り添う空間
- 遊びとひとやすみを、同じ空間でゆったり楽しめる
- ほっとできる、保護者同士が顔なじみになる
- スタッフとちょっとした相談ができる



キッズホールのイメージ

8号棟

機能：ベビーガーデン

利用イメージ

- ゴロンと寝転べる、赤ちゃんのための床
- ハイハイもよちよちも、ここなら安心
- 赤ちゃんが静かに遊べる場所
- 0歳が主役になれる時間と場所
- 静かに、ゆっくり、赤ちゃんのペースで
- 囲われた安心感の中で、はじめての遊び
- 月齢の近い子どもを持つ保護者同士が、自然と顔見知りになれる



ベビーガーデンのイメージ

(参考) 管理棟の利用イメージ

機能：事務室、地域子育て支援センター専用部分（遊戯室・相談室・園庭）、ルクセンブルク紹介コーナー、授乳室、トイレ（おむつ交換スペース、こども用含む）

利用イメージ

- こどもトイレ、多目的トイレ、それぞれに合った水回り
- 授乳も、調乳も、ゆっくりと落ち着いた空間で
- 家族で気兼ねなく使えるおむつ替えスペース、授乳スペース
- スタッフが見守る施設の拠点
- 「ちょっと聞いていいですか」が言いやすい場所
- 相談したいけど何から話せばいいか迷ったら、まずここへ
- 一人で抱え込まなくていい。施設に立ち寄りことから
- ルクセンブルクについて知ることができる、世界への入口



授乳室のイメージ



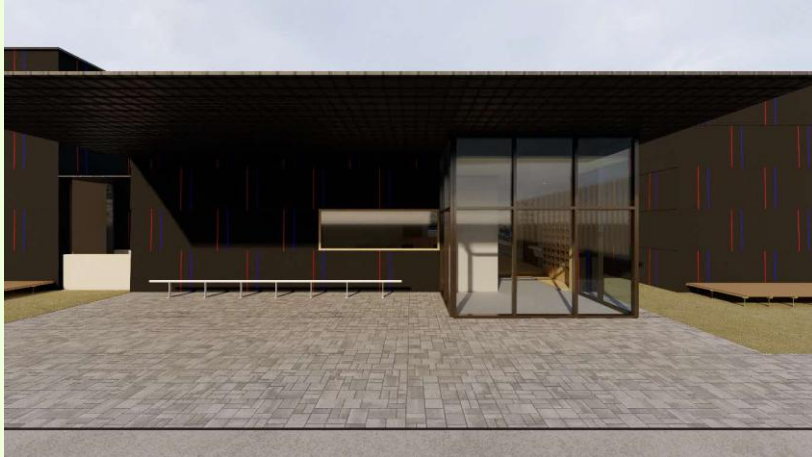
内観パース(玄関)



相談室のイメージ

(参考) イメージパース図

正面入口



正面（専用通路側）より



西（専用通路入口側）より



背面（芝生広場側）より



(5)子育て支援＋スポーツ振興 【芝生広場兼テニスコート】

- ✓ 人工芝による4,000㎡の広大な広場を整備
- ✓ こども達が遊べる広場として、また、テニスコート6面としても活用できるよう、稼働状況を見ながら運用上の工夫を図る予定



芝生広場兼テニスコート

面積	約4,000㎡
機能	<ul style="list-style-type: none"> ● 人工芝により整備し、テニスコート6面としても活用可能とする ● 既設の私部公園テニスコート（4面）については、廃止のうえ南側を植栽し、フットサルコート等として再整備予定 ● 既設の倉治公園テニスコート（2面）については、廃止のうえ公園駐車場として再整備予定
整備費	約150,000千円
完成時期	令和9年度完成予定

財源確保の工夫

- ・ 内閣府の地域未来交付金により財源確保（補助率1/2）
- ・ 一般補助施設整備等事業債（地方交付税により27%国負担）を活用し、財政負担を軽減

(6)子育て支援 【認定こども園敷地】

✓ 地域のこども達の育成のために活用すべく検討中(認定こども園の移転候補地)

【経緯】

- 私部地域の認定こども園「わかばこども園」より、老朽化が進み、耐震性能も満たしていないことから、市は移転に係る相談や要望の意向を受けていました。
- 本市においても、市役所本庁舎の耐震化に伴い防災機能強化が必要であることから、双方の課題解決を図るため、「既存園の敷地を市が取得し防災機能強化のため活用」し、「わかばこども園の移転候補地として一中跡地の一部を活用」すべく、関係機関等と調整中です。



認定こども園敷地

機能

- 私部地域に所在する幼保連携型認定こども園「わかばこども園」の移転候補地として関係機関等と調整中（移転時期は未定）
- 既存園の敷地は、市が取得し防災機能強化（防災指令センター設置）に活用すべく検討中

6 進捗管理・スケジュール

- 敷地の所管は危機管理室となりますが、活用の用途が複数分野に渡ることから、こども家庭部・地域振興部等とともに検討・調整を図っています。
- 旧第一中学校校舎は令和8年末頃に撤去が完了する予定であり、各施設の工事は令和9年度上半期から随時着手する予定です。

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
旧第一中学校校舎解体		工事		
避難所・防災公園		設計	工事	
消防団車庫・防災備蓄倉庫等		設計	工事	
前面道路拡幅		設計	工事	
子育て支援施設	検討・基本計画	設計	工事	
芝生広場兼テニスコート	検討	設計	工事	
認定こども園	検討・調整		検討・調整	

※検討状況等により、スケジュールが前後する場合があります。

7 概算費用見積もり

- 校舎解体費用を含めた概算整備費用合計は約21億円ですが、**国庫補助及び交付税措置**を踏まえた実質的な市負担は約7億円を見込んでいます。(前面道路整備費調整中)

(千円、税込み)

区分	整備内訳	概算整備費		財源内訳			交付税措置 見込み額	実質 市負担額	備考
				国庫補助	起債	一般			
(0)防災力強化	校舎解体・撤去	466,300	1,268,300	0	1,268,300	0	887,810	380,490	・起債は緊急防災減災事業債・緊急 自然災害防止対策事業債（ともに充 当率100%、措置率70%）
(1)防災力強化	避難所	420,000							
	防災公園	43,000							
	専用通路	60,000							
(2)防災力強化	消防団車庫	160,000							
	防災備蓄倉庫	56,000							
	防災車両倉庫	63,000							
(3)防災力強化	前面道路拡幅								・当該整備費用は調整中
	中圧ガス管敷設	50,000	50,000	0	50,000	0	35,000	15,000	・起債は緊防債を活用
(4)子育て支援	子育て支援施設（駐車場含）	608,300	758,300	342,650	374,000	41,650	110,850	304,800	・地方創生交付金（補助率1/2） ・起債は一般補助施設整備等事業債 （充当率90%、措置率30%）
(5)子育て支援+スポーツ振興	芝生広場兼テニスコート	150,000							
合計		2,076,600	342,650	1,692,300	41,650	1,033,660	700,290		

※金額は概算であり、今後の精査等により見直される場合があります。(4)(5)に工事監理費は含まれていません。

8 ご意見受付フォーム

- ご意見がございましたら、右のQRコードからお寄せください。今後の検討の参考とさせていただきます。
- 受付窓口：企画財政部秘書政策課

